

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

510 看護婦

記入昭和51年4月27日

調査者氏名 笠井 康雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Qualified Nurse	(男) 人	訓練開始 1976年10月
	(日本語) 看護婦(病棟)	(女) 1人	派遣予定 1977年2月
		どちらでも可 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Health Service, Ministry of Health

(日本語): 保健省保健局

ロ. 隊員勤務先名称: Bhaktapur Hospital 日本語名称 (バクタプル病院)

所在地: Bhaktapur (カトマंडウ) 車730分 主要都市からの距離 (同市内 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 25ベッドの District Hospital. 毎月約51250ベッドに更に近い将来は100ベッドの病院とすべく計画中である。6ヶ月前に新病棟に移転。医師2名 (1名病院長、1名産婦人科医)

ニ. 設備概要: X線室あり。衛生検査室あり。各室に技師1名づつ。救急車1台。

(2) 隊員の業務内容: (Ward Sister (病棟主任看護婦) として、病棟管理にあたる。

主にネパール人看護婦の監督、指導を行なう

具体的には、記録の査検、指示実施の確認、技術を要する処置の実施

(胃管挿入、胃内容物の吸引、胃管栄養、乳児の点滴など)、其他ネパール Sister 不在時などの代行として、物品の管理、患者の食事が指示通りに行なわれているかの確認、臨床実習のANM学生への指導、ネパール人看護婦への技術指導を行なう。

勤務時間は AM 8:00 から PM 2:00 まで。実際は Sister として、24時間の数に比して、入院患者数が頻繁であり (日平均7名、多い時715名) しばしば患者の受けかえに追われています。

なお、この看護婦は、全て助産婦の免許を取得しており、そのため、14日分娩介助、乳児沐浴に、十分に力を使っているため、派遣隊員は、助産婦免許取得すること。

雨期には、疑似コレラ、原因不明の発熱、吐瀉、下痢及び流行性肝炎の患者が増えるので、この疾病に対し、適切な技術指導、処置をすることが必要である。

携行機材は、前任者のものが引きつがれ足りている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: バクタプル病院は隊員を受入れた。2代目。6ヶ月前に新病棟に移転し、近い将来、100ベッドまで拡大し、バクタプル地域の患者をすべて収容する努力を払っている。このために、日本人看護婦を受け入れ看護技術の向上、病棟の管理の必要性は大である。医師、看護婦の絶対数の不足する当国には、日本人看護婦の活躍に対する期待が大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○正看護婦で病棟勤務最低3年の経験を有すること。(管理者としての風格のあること) 助産婦免許を有すること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

51006 助産婦

記入昭和

54 有 指
東原 裕樹

調査者氏名

希望国名 Sage Famme 艾和国 看護婦(助産婦) - B	受入希望業種 (現地公用語) (日本語)	受入希望人数 (男) 1 人 (女) 2 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 訓練開始 昭和 54年 1月 派遣予定 昭和 54年 2月 受入期限 年月迄に現地到着のこと
--	----------------------------	--	--

所属先

所属先名称 (現地公用語): Le Ministère de la Santé Publique (略 M.S.P.)
(日本語): 保健省

員勤務先名称: Hopitaux Nationaux ou Régionaux 日本語名称 (国立病院又は 県立病院)

所在地: 未定

主要都市からの距離 (より キロ)

業規模及び内容:

国立病院又は県立病院勤務となるが、所属先未定故不明。

備概要: 所属先未定故不明。

員の業務内容: 隊員の所属先については、隊員派遣時の現地人助産婦の配置状況及び協力隊員の派遣数、個々の経験年数等により決まるので、隊員の松文慶子君と受領後、保健省人事局において決定される。何人乗るか不明である現時点で、隊員の席を空けておくわけにはゆかず、また、隊員の松子君について向後の状態で勤務先を決定するのは助産婦のように入命であるが、業務内容については特に危険である。上記の業務内容について定かに記すことはできないが、おおよそ以下のようにある。

- ① 隊員の業務上の地位 —— 産婦人科病棟における助産婦。
- ② 技術の範囲 —— 主に分娩介助、他に産褥室及び新生児(未熟児を除く)室における看護業務、家族計画指導。
- ③ 業務の形態 —— 国立病院の場合産科病棟は4単位に分かれている。1) 分娩室(産科病棟) 2) 分娩室 3) 産室及び病室 4) 新生児(未熟児)室。地方病院では規模が小さく、上記単位を組み合わせる。2単位づらひの1つは、隊員は上記1) 2) 3) 4) のうち1つを任ずる。勤務は昼夜勤、夜勤2 = 交代制とする。昼勤は量数が多いが夜勤は少ない。
- ④ カリキュラム上の技術水準、学歴等 —— 当国の正規の助産婦及び看護婦(士)の教育程度、技術水準は日本より高い。しかし、准看護婦の水準は低く(日本より低い)。
- ⑤ 職場における外国人 —— フランス人医師が多い。フランス人以外の外国人は少ない。

希望の背景と受入国の期待:

⑥ 使用語言法 —— 記録は全てフランス語、会話に英語、フランス語。⑦ 現地の訓練方法 —— 病院には研修施設が不足している。現地で正式な研修は行われない。何らかの形で研修を受ける。教育環境はあり、社会的地位が高い。隊員には健康に対する実力、経験が必要である。出産施設は技術者不足、入母不足で定数以上の役務提供者を期待されている。

⑧ 資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

⑧ 学歴: 助産婦学校卒, 取得資格: 助産婦
実務経験: 助産婦として3年以上 (研修中の実務期間はふくまない)
地先初本勤務の場合、隊員として分娩介助を行うことになる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 年 月 日

51006 助産婦

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Midwife / Nurse	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 助産婦 / 看護婦	(女) 9 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Finance (External Aid Section)			
(日本語): 大蔵省对外援助部			
ロ. 隊員勤務先名称: (隊員は P.H.A.M. (Private Hospital) 日本語名称 ())			
所在地: Association Malawi を通じて 主要都市からの距離 (より キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: ミッション系病院に配属される。			
ニ. 設備概要:			
(2) 隊員の業務内容:			
隊員は ミッション系病院に配属され 外来、小児、産科、成人病棟等の病棟管理、看護管理及び患者の看護の実際にあたる。			
病院の規模は 20~100床程度で 巡回診療 (周辺の部落を巡回し産婦の検診、小児の検診、栄養生活指導等を行う) を行っている病院もある。			
病院は 医師 産婦長、ゲナルドシスタント、助産婦、看護婦、検査技師、看護助手等を構成されており、看護学校が併設されている病院ではこちらの学生が看護実習生として病棟看護に参加している。			
各病院とも On Call システムが敷かれており、月に数回の当番制で病院に行き出し救急患者の処置にあたる。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
助産婦及び看護婦、不足を補い、マラウイ人看護者に対する実務指導			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明記のこと):			
看護婦: 2年以上の実務経験者、特に小児科及び外科の経験が望まれる。			
助産婦: 2年以上の実務経験者、妊婦検診、分娩室、産褥室、未熟児室等一部の助産業務の実務経験者			

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 51 年 4 月 8 日

調査者氏名 若川浩史

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
西サエ	(現地公用語) LABORATORY ASPECT OF FILARIASIS	(男) 人	訓練開始	51 年 10 月
	(F.P.S.) 5年 臨床検査技師	(女) 人	派遣予定	52 年 2 月
		1(どちらでも可) / 人	受入期限	52年 2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語) MINISTRY OF HEALTH

(日本語): 厚生省

DIVISION OF PUBLIC HEALTH

2. 隊員勤務先名称: FILARIASIS CONTROL UNIT

日本語名称 ()

所在地:

APIA

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 厚生省とWHO JOCVとの3者合同プロジェクトとして実施するFILARIASIS CONTROL UNITは1965年8月~1966年9月までの10ヶ月、1971年10月~12月までの2回の経験からサエ人医師1名看護師2名その他2~3人の運営されている。

ニ. 設備概要: FILARIASIS CONTROL UNITには多少の機材があるがそのほとんどは1965年10月のプロジェクトが為に持ち込まれたものである。

(2) 隊員の業務内容: 隊員はチームの一員として業務に当たります。

① 隊員の業務上の地経: 衛生検査や分野の責任者として働く。特に地経はなし。

② 技術的範囲: 血液の採集及び分析等、フィールドでは行わない。

③ 業務の形態: フィールド及び研究室の両方にわたる。

④ 対象者の技術水準: 特に経験者は居ないが、場合により得るべき知識は1-2人の技術を持つ2-3名が考えられる。

⑤ 利用出来る機材: プロジェクトに持ち込まれた中心となるものは少ない。

⑥ 外国人の専門家: WHOから専門家も派遣される。外人部隊が中心となる。

⑦ 使用上の言語: 英語、サエ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在サエ人の血中フィリア濃度の再上昇防止のためこの対策も必要で患者の発生が少なく済むのを希望する。そのため新しいプロジェクトが組織されることになり、そのプロジェクトに期待が高い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 臨床(衛生検査)技師の免許を持ち、2年以上の経験があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52年 9月 20日

523 作業療法士

調査者氏名 金城光男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Occupational Therapist	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 作業療法士	(女) 人 (どちらでも可) / 人	派遣予定 53年 8月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Perak Society for Mental Health Promotion
(日本語): ペラ州精神衛生向上委員会

ロ. 隊員勤務先名称: Day Care Center 日本語名称 (デイケアセンター)
所在地: ペラ州 イタ-市 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 軽度の精神障害者に対する居間のみ(自宅から通い)作業療法を通じたリハビリテーションを行う。患者数25人程度 センター職員6人
上記協会の下で運営委員会の指導と管理を受ける。~~患者の~~患者への徴収

ニ. 設備概要: 金 個人生活に必要な寄付、作品の売入金 政府の助成金等による。運営が賄われる。

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: 患者に主として手工芸等の指導を行いながら療養活動に当る。

2. 利用可能な施設等:

イ. 家 (ベッドルーム2、バスルーム2、ホール1、スズクーム1、キッチン1)
作業室1、医師の住居

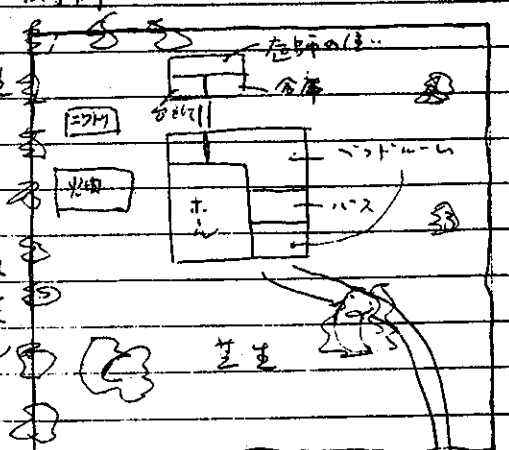
ロ. 庭 約 1500 m²

ハ. 環境: 高級住宅地域内にあり閑静である。

3. 使用できる器具: ミシン2台 裁縫道具等

4. 対象者: カウンス・ポート: 患者の大部分が女性
である職員が女性のため同施設の
作業種目の多様化のためにも、2名程度の
男性を優先したいという希望がある。

5. 使用する言語: 患者は中国人が大半、その他
インド人、マレー人など。また民族
語(カタクセリ)の者が居り英語は
が難関。スズクームは英語。
隊員は英語研修が望ましい。



(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 民間の有志が集めて、社会の善意により、
苦勞しながら運営している施設がある。基本的にはボランティア
のVolunteerのサービスに依存している。その線上での協力隊を請う
る。特に作業療法士の資格は物とす、同施設に2種類の
奉仕活動する意志があり、指導し得る人材に渡り多職に存在する者を探している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

上記(3)参照
作業療法士

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51年 4月 8日

550 公衆衛生

調査者氏名 吉川浩史

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サエ	(現地公用語) ENTOMOLOGICAL ASPECTS OF FILARIASIS	(男) 人	訓練開始 51年 10月
	(日本語) 昆虫学(病列)	(女) 人	派遣予定 52年 2月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 52年 2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF HEALTH

(日本語): 厚生省

ロ. 隊員勤務先名称: DIVISION OF PUBLIC HEALTH FILARIASIS CONTROL UNIT

日本語名称 ()

所在地: AP/A

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 原簿とWHO, JOCVとの三者の合同プロジェクトとして設置された FILARIASIS CONTROL UNITは 1965年8月~1966年9月の第1回 1971年11月~12月の第2回の間 派遣プロジェクトに参加したサエ人から 5~6人の専門家を選び、USPCをト着る。

ニ. 設備概要: 23倍の顕微鏡、幼虫試験器種類は2倍のサイズがある。ほかにエボロプロジェクトとWHO, JOCVと協定を予定。

(2) 隊員の業務内容: 隊員はWHOから派遣される専門家の協同に業務を進める。

① 隊員の業務の地域: プロジェクトの昆虫学者と協力。

② 技術の範囲: フィラリアに關する採集・解剖・分析等を行う。

③ 業務の形態: フィールド型

④ 対象者の技術水準: 一般の調査の出来る体制にはあるが高くない。専門家の場合には隊員がカウンセラーとしての役割がある。

⑤ 利用出来る機材: 多少のものは利用出来るが、持込ものを利用する。

⑥ 第三国の専門家: WHOから専門家等が派遣される。外人部隊が中心となる。

⑦ 使用する言語: 英語、サエア語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在サエア人の血液の中に持っているフィラリア菌の濃度が再び高くなる恐れがあり、その予防対策として患者の発生が減少するのを目的として、最近新たにプロジェクトが組織された。これは非常に期待が高し、日本人に対する期待は大きいものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 大学で昆虫に關する専攻をし、2年以上の経験が望まれる。必要書類を添付する。
- 本プロジェクトに学術的興味のあるものが望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

52.10.24

記入昭和 年 月 日

602 統 計

調査者氏名 稲田 武司 *Jan*

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) DATA PROCESSOR (日本語) データ プロセサー	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 52 年 4 月 派遣予定 52 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): K.C.R.D.P.
(日本語): カロンガ・ナティに地域開発計画
- ロ. 隊員勤務先名称: 配属先に同じ
所在地: カロンガ
日本語名称 ()
主要都市からの距離 (アスより240キロ)
- ハ. 事業規模及び内容:
別添参照

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- Ⅲ KCRDP エバリュエーション セクションが実施する諸調査に要する統計的基礎を提供する。
- カ) 同セクションで使用する計画表の作成。
- キ) 経済、社会、農業、人口統計データを図表化し最終分析するためのデータ編集、データ推移管理、データ有効化。
- ク) 他プロジェクトよりのデータプロセサーと共同でデータのコンピューターレコーディング有効化、図表化の為の共通プログラムの作成。
- ケ) データの多重分析その他の分析のための特定プログラム作成。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 大卒
② 統計、統計手法の訓練を受けていること
③ コンピュータープログラミングのサンプリングメソッドに習熟していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52 年 11 月 24 日

640 家 政

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディッシュ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 1 人	派遣予定 年 月
	家 政	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Volunteer Service (B.V.S.)
(日本語): バングラディッシュ ボランティア サービス
- ロ. 隊員勤務先名称: Rampur Village Development Project (日本語名称: テンプル農村開発計画)
所在地: 17カクリ地区ゴングジ郡 テンプル村 (主要都市からの距離 (コシヤより) 50キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: B.V.S. は 1977 年設立以来 通算約 300 人の 17 村内ボランティアを農村開発等に送りだしてきた。本年度は 300 万タカ (約 5 千万円) の予算で現在 150 人の 17 村内ボランティアを擁する。テンプル計画は 19 年平均 6 千 7 百 (約 10 万円) の予算で実施される。
- ニ. 設備概要: 勤務先には 5~6 人宿舎可能なスペースを有する事務所があるのみ。現在事務所・宿舎と改増築することを計画している。

(2) 隊員の業務内容

- 現在勤務先には女性ボランティアはいないが、来年 1 月より農村女性(未婚・既婚問わず)を対象に婦人グループを組織化し、現金収入の道を開くために 6 月コースで婦人子供服、人形、手芸教室を設けた計画があるため、隊員は B.V.S. メンバーを指導し、農村女性と直接接する。
- (1) 隊員の業務上の地位: B.V.S. メンバーの相談相手
 - (2) 技術の範囲: 直接の相手となる農村女性は B.V.S. メンバーの教育により文盲が減少したが、ほとんどは文盲であり B.V.S. メンバーも休学中の大学生が主であり専門技術はほとんど基本的な知識、技術で十分と判断する。
 - (3) 業務の形態: 農村における普及活動
 - (4) 対象者のカテゴリー別の技術水準: 両者とも今(1)は初心者と見てよく、技術水準は極めて低い
 - (5) 現地で利用できる材料: 当地で入手可能な素材のみ
 - (6) 現場に於ける才力のある者: 来年から旧連ボランティア(主にアジヤの同族達上り)から B.V.S. に又入る程度派遣される計画があるため、何人かはテンプルに派遣される可能性もある。
 - (7) 使用する言語: ベンガル語 (但し英語も特に必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

B.V.S. はその活動が国際的にも評価されている 17 村内ボランティアの組織だが、当地で活動中の JICA V.F. (より) 技術上のアドバイスを得たい、又同じアジヤにある日本からのボランティアと共同で農村開発を担いたいという期待がある。特筆すべき点は、高度な技術よりも、日本では想像不可解な厳しい条件下の当地農村で働くボランティアになり得る人間性こそ若者と強く重視している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

上記のとおり技術の面では他の例と若干ニ=アレスを要している。心用力を要し、農民の心情を理解でき、厳しい生活環境に耐えられる(心身ともに健全)であることが必要とされる。経験 1 年以上が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

64005 婦人子供服

記入昭和 52年 6月 / 日

調査者氏名 石川 満男 

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
K=J	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可)	人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): **MINISTRY OF SOCIAL SERVICES**
(日本語): **社会福祉省**
- ロ. 隊員勤務先名称: **NANGINA VILLAGE POLYTECHNIC** (日本語名称 ())
所在地: **NANGINA** 主要都市からの距離 (R2より 80キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 同校は 木工・機械・タイピスト・洋裁の4部門、スタッフは校長及び4人の教師、生徒数約130名。
- ニ. 設備概要: 現在、教会施設の一部を借用運営して3ヶ月、校舎は新設中

(2) 隊員の業務内容:

- 1) Dress Making Instructor
- 2) 業種は婦人・子供服となつて3ヶ月各種学校製服及び紳士服(主にスボタン)子供の洋裁(園児)の広い技術・知識
- 3) 現在、3名洋裁教師と共に洋裁部門の教育・指導及びその運営
- 4) 12名~22名の技術・学術共はうほう2-1か1位、水準にある生徒の指導
- 5) ミシン15台 (内5-6台故障) 他
- 7) 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同校を以てして現在35名の洋裁生徒をその能力割りに分け、充実にした後業、K=J洋裁グレート3の資格を得させた計画である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 中級以上の洋裁知識の有する事
- 教育経験の有する事
- 語学のほんのうた事

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52年 11月 2日

650 音 楽

調査者氏名 花田 真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Honduras	(現地公用語) Cntraoajo	(男) 人	訓練開始 52年 4月
ホンジュラス	(日本語) コントラバス	(女) 人	派遣予定 52年 8月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministerio de Planificación y Economía

1. 配属先名称 (現地公用語): Municipalidad de San Pedro Sula

(日本語): サンペドロスラ市役所

ロ. 隊員勤務先名称: Escuela de Música victoriano Lopez (日本語名称 (ウクトリア) ロペス音楽学校)

所在地: San Pedro Sula サンペドロスラ 主要都市からの距離 (首都より230キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サンペドロスラ市立音楽学校で教師8名、学生43名で構成されている。就業年数5年制で、中学高校課程の音楽教育及び、中学高校課程の教員養成、音楽家(演奏家)の養成の課程があり、奨学金制度による民衆の音楽教育を実施している。生徒年令は、10才~20才

ニ. 設備概要: 現在音楽(2管建)教室講堂(事務室)で授業を行っているが、楽器類は新製購入の予定と、明年度(1973年度)の新校舎建設により施設、設備等一新される予定である。

(2) 隊員の業務内容: 上記音楽学校で自己の専門楽器の演技指導並びに、出来れば、学科(音楽教育基礎)も1~5年生を対象に指導する。

- ① 隊員の業務上の地位: ウクトリア) ロペス音楽学校教師
- ② 技術の範囲: 自己の専門楽器の演技指導が出来れば、教員養成課程の学生に対する教授法の指導が出来ると
- ③ 業務の形態: 授業時間は、7:10 AM ~ 11:30 AM, 14:00 PM ~ 16:40. 1時限50分の授業で、この時間帯の中で自分の専門とする楽器を指導する。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、年令、学歴: 対象者は、中学高校生で年令、10才~20才、高校課程の学生は将来音楽教員を希望する者である。現在カウンターパートと協働できる人材が少ないので、優秀な学生で将来教員を希望する生徒の中からカウンターパートを選出し指導する事が望ましい。学生数は1年生20人、2年生9人、3年生6人、4年生4人、5年生4人計43人。
- ⑤ 現地で利用出来る機材: 音楽学校所有の楽器として、バイオリン34台(1/2~3/4)、ウイロー9台、タムロ、11台、ピアノ2台、コントラバス5台の他、タンバリン、マカスカがある。
- ⑥ 現場に於ける外国人及び日本専門家配置状況: 当国に音楽指導者が皆無の状態であり、当校に8名のスタッフ中6名が外国人である。①チリー人(男49才)バイオリン、タムロ、②チリー人(女23才)フルト、学科、③ホルガル人(女34才)英語、④カルトル人(男53才)学科、ソル、ソ、ハ、モ、ー、⑤US. Pac. Corp. (女23才)ウイロー、⑥米国人(女26才)ピアノがそれぞれ指導中にある。⑦使用言語、スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 音楽教育の一般民衆への普及、音楽教員の養成、音楽家(演奏家)の育成を学校目標のかけ、意を込めたい。若くは対象に音楽教育の機会の手を失う。現在8名のスタッフで指導中にあるが、うち外国人が6名あり、不足を指導者の確保が最大の課題とされている。特に明年(1973年)には新校舎の設立と相俟って、諸設備が充実されるに當り、学校教育音楽教育に秀れた経験を持つ、日本へ技術協力の援助人材の援助を要請してまいりたい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 上記業務内容と遂行出来る者で、音楽大学、或いは、音楽を専門とする学部学科を卒業して者。
- ② 鈴木メソッドに対する当国の関心が非常に高いので予備知識、或いは、実際に若干の経験を持つ者が望ましい。教員免許取得者であれば、なお良い。絶対条件ではない。
- ③ 実務経験2~3年を有する者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

650 音 楽

記入昭和 52年 11月 2日

調査者氏名 花田 真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Honduras (現地公用語) ホンジュラス	Violoncello (日本語) チェロ	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 52年 4月 派遣予定 52年 8月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 ministerio de planificación y Economía

イ. 配属先名称 (現地公用語): Municipalidad de San Pedro Sula

(日本語): サンペドロスラ市役所

ロ. 隊員勤務先名称: Escuela de música victoriano Lopez (日本語名称 (フリリ) ロペス音楽学校)

所在地: San Pedro Sula サンペドロスラ 主要都市からの距離 (首都より230キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サンペドロスラ市立音楽学校で教師8、学生43名で構成されている。就業年数5年制で、中学高校課程の音楽教育及び、中学高校課程の教員養成、音楽家(演奏家)の養成の3課程があり、奨学金制度による民衆への音楽教育を実施している。生徒年令は、10才~20才

ニ. 設備概要: 現在音楽(2管弦、8教室講堂事務室)で授業を行っているが楽器類は新規購入の必要と、明年度(1977年)の新校舎建設により施設設備も一新される予定である。

(2) 隊員の業務内容: 上記音楽学校で自己の専門楽器の演技指導並びに出来れば、学科(音楽教育基礎)も1~5年生を対象に指導する。

- ① 隊員の業務上の地位: フリリ、ロペス音楽学校教師
- ② 技術の範囲: 自己の専門楽器の演技指導か出来れば、教員養成課程の学生に対する教授法の指導か出来る事
- ③ 業務の形態: 授業時間は、7:10AM~11:30AM、14:00PM~16:40、1時間50分の授業で、この時間帯の中で自分の専門とする楽器を指導する。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、年令、学歴: 対象者は、中学高校生で、年令、10才~20才、高校課程の学生は、将来音楽教員を希望する者である。現在カウンターパートと成るべき人材がいっぱいの優秀な学生で、将来教員を希望する生徒の中からカウンターパートを選出し指導する事が望ましい。学生数は、1年生20人、2年生9人、3年生1人、4年生4人、5年生5人、計43人。
- ⑤ 現地で利用出来る機材: 音楽学校所有の楽器として、バイリン34台(1/2~3/4)、ウイラ9台、チェロ、11台、ピアノ2台、コントラバソ5台の他、タンバリン、マカスカがある。
- ⑥ 現場に於ける外国人及び日本専門家配置状況: 当国に音楽指導者か音楽の状況不あり、当校に8名のスタッフ中6名まで外国人である。①チリ人(男4才)バイリン、チェロ、②チリ人(女23才)フルト、学科、③ホルガル人(女34才)英語、④カルトル人(男53才)学科、ソルベ、ソ、ハモニー、⑤US. Kau. Corp. (女23才)ウイラ、⑥米国人(女26才)ピアノか出来れば指導中にある。⑦使用言語、スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 音楽教育の一般民衆への普及、音楽教員の養成、音楽家(演奏家)の育成を学校目標にかかっている者を対象に音楽教育の機会を与えている。現在8名のスタッフで指導中にあるが、うち外国人が6名であり、不足気味の指導者の確保が最大の課題となっている。特に明年(1977年)には、新校舎の設立と相俟って諸設備が充実されるに当り、学校教育音楽教育に秀れた経験を持つ、日本へ技術協力、援助人材の援助を要請して来た次第である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 上記業務内容と遂行出来る者で、音楽大学、或いは、音楽を専門とする学部学科を卒業した者。
- ② 鈴木メソッドに対する当国の関心が非常に高いので、予備知識、或いは、実際に若干の経験を持つ者が望ましい。教員免許取得者でない場合は、台お良、か、絶対条件ではない。
- ③ 実務経験2~3年を有する者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52年 11月 8日

650 音 楽

調査者氏名 花田 真人 *flora*

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Honduras	(現地公用語) Viola	(男) 人	訓練開始 52年 4月
ホンジュラス	(日本語) ビオラ	(女) 人	派遣予定 52年 8月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministerio de Planificación y Economía

1. 配属先名称 (現地公用語): Municipalidad de San Pedro Sula

(日本語): サンペドロスラ市役所

ロ. 隊員勤務先名称 Escuela de música victoriano Lopez (ウイクトリアノ) ロペス 音楽学校

所在地: San Pedro Sula サンペドロスラ 主要都市からの距離 (首都より230キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サンペドロスラ市立音楽学校で教師8名、学生43名で構成されている。就業年数5年制で、中学高校課程の音楽教育及び、中学高校課程の教員養成、音楽家(演奏家)の養成の課程があり、奨学金制度による民衆の音楽教育を実施している。生徒年齢は、10才~20才

ニ. 設備概要: 現在宿舎(2階建)と教室講堂(事務室)で授業を行っているが、樂着類は新築予定で、明年度(1978年度)の新校舎建設に伴い、校舎、設備等一新される予定である。

(2) 隊員の業務内容: 上記音楽学校で自己の専門楽器の演技指導並びに、出来れば、学科(音楽教育基礎)も

1~5年生を対象に指導する。

① 隊員の業務上の地位: ウイクトリアノ) ロペス音楽学校教師。

② 技術の範囲: 自己の専門楽器の演技指導か出来れば、教員養成課程の学生に対する教授法の指導か出来る事。

③ 業務の形態: 授業時間は、7:10 AM ~ 11:30 AM, 14:00 PM ~ 15:40, 1時間50分の授業で、この時間帯の中で自分の専門とする楽器を指導する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、年齢、学歴: 対象者は、中学高校生で年齢、10才~20才、高校課程の学生は、将来音楽教員を希望する者である。現在カウンターパートとなるべき人は、^①ウイクトリアノ) の優秀な学生で将来教員を希望する生徒の中からカウンターパートを選出し指導する事が望ましい。学生数は、1年生20人、2年生9人、3年生6人、4年生4人、5年生4人、計43人。

⑤ 現地で利用出来る機材: 音楽学校所有の楽器として、バイリン34台、(1/2~3/4)、ヴィオラ9台、チェロ11台、ピアノ2台、コントラバス5台の他、タンバリン、マカス等がある。

⑥ 現場に於ける才力、日本人及び日本専門家の配置状況: 当国に音楽指導者が皆無の状態であり、当校も8名のスタッフ中6名が外国人である。^①チリー人(男49才)バイリン、左口、^②チリー人(女23才)フルート、^③学科、^④ホルカール人(女34才)英語、^⑤カルトール人(男53才)学科、ソルバニョ、ハモニ、^⑥US. Pau. Corp. (女23才)ヴィオラ、^⑦米国人(女26才)ピアノがそれぞれ指導中にある。⑦使用言語、スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 音楽教育の一般民衆への普及、音楽教員の養成、音楽家(演奏家)の育成を学校目標にかかり、思われるべき対象に音楽教育の機会を与えている。現在8名のスタッフで指導中にあるが、うち外国人が6名であり、不足味の指導者の確保が最大の向題となっている。特に、明年(1977年)には新校舎の設立と相俟って設備が充実されるに併し、学校教育音楽教育に秀れた経験を持つ、日本へ技術協力の援助人様の援助を要請して来た次第である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 上記業務内容を遂行出来る者で、音楽大学、或いは音楽を専門とする学部学科を卒業した者。

② 鈴木メソッドに対する当国の関心が非常に高いこと、予備知識、或いは、実際に若干の経験を持つ者が望ましい。教員免許取得者であれば、なお良し。絶対条件ではない。

③ 実務経験3年以上を有する者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 57 年 11 月 8 日

650 音 楽

調査者氏名 花田 真人 *(Signature)*

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) violoncello	(男) 人	訓練開始 53 年 4 月
ホンジュラス	(日本語) チェロ	(女) 人	派遣予定 53 年 8 月
		(どちらでも可) 1 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA

イ. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION ARTISTICA

(日本語): 芸術教育総局

ロ. 隊員勤務先名称: ESCUELA NACIONAL DE MUSICA 日本語名称 (国立音楽学校)

所在地: TEGUCIGALPA テグシカルパ 主要都市からの距離 (~~上り~~ キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1977年に発足した音楽教育実験学校で指導内容として児童(小学生)音楽教育、教員養成、音楽家(演奏家)育成の課程がある。現在生徒数(小学1年)26名、教師3名で運営されている。入学年分は1年義務教育6年制とされており、音楽家教師を希望するものは、統一的中学課程、教員養成課程へ進むことが可能。
ニ. 設備概要: 2階建て家屋を校舎として借用しているが、概観的に不便な点 明年(57年)は別途大きな建物を借用する予定がある。楽器数 12. ピアノ 10台、バイリン19台(各々4)ヒアウ2台、チェロ5台、その他ギター、マンリン。

(2) 隊員の業務内容: 実験学校の生徒にスキーム方式によるバイリン教育並びに教員課程(含教師)の生徒に対するバイリン指導が主要業務内容となる。年令は7才~20才までであるが、指導されるのは、カリブ指導内容諸設備全般に限り不完全傾向が強いので、専門の技術指導に力を入れ、音楽教育全般についての指導も業務の一部となる。

① 隊員の業務上の地位: 国立音楽学校教師

② 技術の範囲: 小学校、中学校課程の音楽教育を指導出来、かつ、教員養成課程の生徒、先生に対するアドバイス、指導が出来、技術、演奏力を持つ。また、通訳スキームの指導方法も理解している事。

③ 業務の形態: 生徒の授業時間数は、週40時間(50分授業)となっているが、隊員は、この時間数の中で自分の専門課程を担当する: としている。授業時間は AM: 7時 ~ PM: 8時まで。(別添、カリキュラム参照)

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴、年令: 対象者、年令は7才~20才。小童課程の入学年令は7才から。又教員養成課程を希望する者は、義務教育課程(小学6年、中学3年)を終えて、音楽学校への入学試験に受かる者に限られている。

⑤ 現地で利用出来る機材:

⑥ 取組に於ける中3国人及び自米専門家との配置状況: 現在、ひとりなし。

⑦ 使用言語: スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の学校教育に不足している音楽教育を国立音楽学校(児童音楽実験学校)で小学生を対象に実験教育を通して音楽教育を通じて、人間性豊かな創造性ある人間を育成する: ことを目的としている。又児童教育の延長として将来の本国の音楽演奏家、教員養成を目的としており、音楽教育の全国普及、学校教育への導入を早期に実施すべく、音楽教育、学校教育へ進出したい。我々へ技術の援助を要請してきてもある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 音楽大学、又は音楽を専攻とする学部、学科を卒業したもので、実務経験のある者か、望ましい。

② 教員免許取得者か、望ましいが、絶対条件ではない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

650 音 楽

記入昭和 57 年 11 月 8 日

調査者氏名 花田 真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定	
HONDURAS ホンジュラス	(現地公用語) Violin	(男) 人	訓練開始	57 年 4 月
	(日本語) ヴァイリン	(女) 人	派遣予定	57 年 8 月
		(どちらでも可) 1 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA

1. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION ARTISTICA

(日本語): 芸術教育総局

ロ. 隊員勤務先名称: ESCUELA NACIONAL DE MUSICA 日本語名称 (国立音楽学校)

所在地: TEGUCIGALPA テグシカルパ 主要都市からの距離 (50 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1977年に発足した音楽教育実験学校で指導内容として児童(小学生)音楽教育、教員養成、音楽家(演奏家)育成の3課程がある。現在生徒数(小学生)26名、教師3名で運営されている。入学年分は7才義務教育(年制)とあり、音楽家教師を希望するものは、統一的中学課程、教員養成課程へ進むことが可能。設備概要: 2階建家屋を校舎として借用しているが、機能的に不便な点、明年(57年)は別途大きな建物を借用する予定がある。教員数(2.ピアノ)10名、ヴァイリン19名(各々)ピアノ2名、ホルン5名、その他ギター、フリューゲル。

(2) 隊員の業務内容: 実験学校の生徒にシステム方式によるヴァイリン教育並に、教員養成課程(音楽教師)の生徒に対するヴァイリン指導が主な業務内容となる。年分は7才~20才まであるが、前校よりにはカリで指導内容諸設備全般に渡り不完全傾向が強いので、専門的技術指導に力を入れ、音楽教育全般についての指導も業務の一部となる。

- ① 隊員の業務上の地位: 国立音楽学校教師
- ② 技術の範囲: 小学校、中学校課程の音楽教育を指導出来、かつ、教員養成課程の生徒、先生に対するアドバイザー、指導から来る技術、演奏力を持つこと。また、通訳システム、指導方法も理解している事。
- ③ 業務の形態: 生徒の授業時間数は週40時間(50分授業)となっているが、隊員はこの時間数の中で自分の専門課程を担当することになる。授業時間はAM:7時~PM:8時まで。(別添カリキュラム参照)
- ④ 対象者及びカリキュラーの技術水準、学歴、年分: 対象者の年分は7才~20才、小学課程の入学年分は7才から、又教員養成課程を希望する者は義務教育課程(小学6年、中学3年)を終えたもので、音楽学校の入学試験に受かる者に限られている。
- ⑤ 現地で利用出来る機材:
- ⑥ 職場に於ける日本人及び日本専門家との配置状況: 現在ひとりだけ。
- ⑦ 使用言語: スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の学校教育に不足している音楽教育を国立音楽学校(児童音楽実験学校)で小学生を対象に実験教育するもので、音楽教育を通じて、人間性豊かな創造性ある人間を育成することに目的としている。又児童教育の延長として将来の小国の音楽演奏家、教員養成を目的としており、音楽教育の全国普及、学校教育への導入を早期に実施すべく、音楽教育、学校教育へ進歩した我が国へ技術の援助を要請しているものがある。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 音楽大学、又は音楽を専門とする専修学科を卒業したもので、実務経験のある者が望ましい。
 - ② 教員免許取得者が望ましいが、絶対条件ではない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

782 理数科教師

記入昭和52年10月15日

調査者氏名 神谷弘司

希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Science Education	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 理数科教師(化学)-D(2.1)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限53年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Philippine College of Arts and Trades (PCAT)
(日本語): フィリピン工芸大学

ロ. 隊員勤務先名称: College High School 日本語名称 (フィリピン工芸大学高等部)
所在地: Manila, Metro Manila 主要都市からの距離 (—より—キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1901年に設立された school of Arts and Trades 系総合的な学校で大量の技術系学生を国内に送り出している。現在は school of Arts and Trades 系 1 学部、NMYC 教員が所属する専攻科 1 学部である。この他に 3 年制コース (別添参考) を有している。専攻科は高給が得られ、設備概要: 43 一般企業に就職している。また JICA を通じて 43 名が教員が日本へ短期研修研修に行っている。また 1 年間の Repatriation 研修研修が実施されている。

(2) 隊員の業務内容: 高等部は 11 年～13 年までの 3 コースと 14 年～16 年までの 3 コースとに分かれている。専門コースへ進学した上で、Industrial Education を基礎として物理、数学、化学の力量不足が進行の障害となることが多い。隊員は 24 名を合計的に強化する努力が求められる。

① 隊員の業務上の地位
技術主任 (Assistant)。

② 隊員の業務上の業務内容
カリキュラムの改善、教員の育成、実験装置の改良、授業等色々な面において手に入る材料が不足している。理想的な状態に近づける業務方法の指導 (特に現地的な手段を用いた教授法) の改良が中心の業務となる。進捗状況に詳しい数字については別添に記す。

③ 隊員の人数
1 名 (専攻) 大学で化学を専攻している。

④ 現地に利用可能な教材
一般的に化学教員用器具類以外。

⑤ 隊員 3 名: 1 名。
⑥ 使用言語: 英語。

* 別添 Course Syllabus in Science III を参照。(教科書も別添)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規受入。
当部門の 3 コースの充実に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
高等学校教員免許状を有しており、実際に指導経験が 3 年以上ある人を望む。
赴任時年齢 25 歳前後。
実際に教授法を教えることができる人を望む。
指導力がある人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52年 11月 1日

702 理数科教師

調査者氏名 平川 淳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語) (Modern Math) Secondary School Teachers	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 高校教師 (数学)	(女) 人	派遣予定 53年 8月
		(どちらでも可) 2人	受入期限53年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education & Culture Ghana Education Service
(日本語): 教育化省 ガーナ教育局

ロ. 隊員勤務先名称: Ghana 10位の Secondary School 日本語名称 ()
所在地: 全口に約200校あり 主要都市からの距離 (より #口)

ハ. 事業規模及び内容: Form 1 ~ 6 (Upper & Lower) 年 13才 ~ 19才 位までの生徒
7 校の学校は全寮制の男女別々の学校となっており、そのうち...

ニ. 設備概要:

教室 実験室等は 日本の高校の水準の設備はあるが 教材は不足している

(2) 隊員の業務内容:

- イ. Form 1 ~ 6 の数学の授業を行う
- ロ. 数学は現代数学である
- ハ. 内容は (シラバス参照) 日本、中学校 ~ 高校にほぼ対応あり 特: Form 6 は大学の一般教養程度の内容を学ぶ
- ニ. 週 20時間 (40授業) 前後を定めた
- ホ. 173人の生徒数は約40名
- ヘ. 使用言語は英語
- ト. 一部の学校は 半 PC 兼 VSO. かつ Cuso のホステルあり 及び 英口人のコト
- チ. 日本育の外国教師が 2 ~ 3名ずつ配属されている
- ク. 数学の授業を行うと同時に 寮の管理 課外活動 など 2つの担任等の業務がある事も有る。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ガーナのセカセカリー・スクールは、全アフリカ諸国の中では、その内容と施設等に於いて、最も水準にあり、ガーナ国民も教育に対しては深い敬意があり、生徒も非常に意欲的に学んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- (大学(4年)以上の学歴)
- (英語で数学を教える事が可能な事)
- 高校教師免許、 教職経験(無いでも可)のある事
- (数学)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

782 理数科教師

記入昭和 72 年 11 月 1 日

調査者氏名 平川 淳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガナ	(現地公用語) Secondary School Teacher	(男)化学 2人	訓練開始 年 月
	(日本語) 高校教師 (化学)	(女)物理 2人	派遣予定 <u>73</u> 年 8 月
	高校教師 (物理)	(男) 1人	受入期限 <u>73</u> 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education and Culture, Ghana Educational Service
 (日本語): 教育文化省 ガーナ教育局

2. 隊員勤務先名称: Ghana National Secondary School 日本語名称 (ガーナ国立高校)
 所在地: (全口には 2009 年あり) 主要都市からの距離 (より #0)

3. 事業規模及び内容:

Form 1 ~ 6 (lower + upper) のあり 年々 13 ~ 19 才の学生で 25% の学
 校は全寮制 男子校 女子校に別れている

4. 設備概要:

教室 実験室等は 12 月の高校、大学の設備はあるが 教材は不足

(2) 隊員の業務内容:

1 Form 1 ~ 6 の 4 科目 (化学、物理) の授業を行う
 例) 下級生 (Form 1 ~ 2) は 物理、化学、生物等が一緒になる
 General Science (12 月、中学理科) を教える場合もある

2 生徒は (12 月 20 日) 12 月の 中学 2 年 ~ 高校 3 年に 割り 高学
 年ばかりの生徒である

3 週 20 時間 (40 分 1 時間) 前後の授業を行う

4 1 週間 40 名

5 使用言語は 英語

6 物理、化学の授業の他に 課外活動 寮の管理 又 学校内の
 掃除 などの 業務もある

7 別の学校は 年々 10 名 12 月の 12 月 1 日 外に 1 人 教師が 2 ~ 3 名
 ほど 配属されている

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ガーナの Secondary School は 全アフリカ諸国の 1 校では 最も 内容が 豊富
 である 水準にあり ガーナ国民も 教育には 熱意をもち 学ぶ 意向が 高い
 ある

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について O 印で囲むこと):

大学 (4 年制 理数科) 以上の学歴 英語で 物理 または 化学が 教

えられる事 (教員免許 (中学、高校理科) 教師経験 (望む可)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年 1月21日

782 理数科教師

調査者氏名 石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
T=ア	(現地公用語) Science Education	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 理数科教師	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 2人	受入期限 53年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION
(日本語): 文部省
- 隊員勤務先名称: HARAMBEE SECONDARY SCHOOL 日本語名称 ()
所在地: [REDACTED] 主要都市からの距離 () より キロ
- 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- Harambee Secondary School 理数科教師
- 理科 (化学・物理・生物) 及び数学を英語を用いた教育 成果と知識と語学力
- 定められた期間 及び 時間 教理科 及び 数学の教育
- 小学校 (7年制) 卒業生より Sen Form 0 まで
- 現在有3つの教室 及び 黒板 及び フォーク 教科書 程度
- 新に 5つの American Peace Corps と 一緒に いる
- 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

T=ア には 平均に 教員が 質的に 劣っている。所謂 教員 資格を 持った者の 絶対数が 少ない。理数に 加えて 国家予算の 約4割を 教育に 投入する 意に 教育を 重視している事。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 大学卒業 又は それ以上の 学歴を 有する事
- 教員免許を 有する事
- 英語能力の 大なる事

(注) 教員免許は 以下の所 T=ア・ハ/T=ア で 取り扱いたい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

52-131-4

52.11.21

記入昭和 年 月 日

782 理数科教師

調査者氏名 笹子 実

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) TEACHER	(男) 人	訓練開始 50 年 4 月
	(日本語) 高校教師	(女) 人	派遣予定 50 年 8 月
	(どちらでも可)	7人	受入期限 50 年 10 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION

(日本語): 文部省.

ロ. 隊員勤務先名称:

不明.

日本語名称 ()

所在地:

不明.

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

マラウイ政府立もしくはミッション立のセカンダリー・
スクール.

ニ. 設備概要: 不明.

(2) 隊員の業務内容:

通常週 10 時間から 15 時間の授業 (数学、化学、
物理学、まれに生物学) のほか 課外活動指導 (体育、
関係では バレーボール、サッカー、文化関係では 絵画等) を行う。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

マラウイ人教師不足に加え、米国、英国、
オランダ等のボランティアが少なくなり、極端に教師不足
状態であるため。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

英語に堪能であること。高校もしくは中学教員資格を有すること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78501 体 育

記入昭和 52 年 7 月 18 日

調査者氏名 **木内志郎**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ネパール	(現地公用語) Physical Education	(男) 1 人	訓練開始 S. 52 年 10 月
	or (Sport Organizer)	(女) 人	派遣予定 S. 53 年 2 or 4 月
	(日本語) 体育指導(教官) は(スポーツオルガナイザー)	(どちらでも可) 人	受入期限 3 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先 Ministry of Education, Technical Division,

イ. 配属先名称 (現地公用語): Physical Education Section.

(日本語): **文部省指導技術部体育指導課**

ロ. 隊員勤務先名称: Regional Education Directorate. 日本語名称 (**地方教育事務所**)

所在地 Dharan, Pokhara, Nepalgunj, Kathmandu 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: **各地区の小・中・高校の体育担当教師及び生徒に対し陸上競技、バレーボール、サッカーなどの競技場造りからルール(競技規則)、競技のやり方などを巡回指導する。他にも音楽、ダンスなどの指導する。**

ニ. 設備概要: **特になし。(文部省からボール、ネットなど支給されることもあるが絶対数は常に不足するとのことである。)**

(2) 隊員の業務内容: **地方教育事務所の計画に従い、各地区の小・中・高校の体育担当教師及び学生に対し、陸上競技、バレーボール、サッカーなどの競技場造りから、競技規則、競技のやり方などについてネパール人同僚と共に各地区毎に巡回指導する。(体育全般にわたる政府の指導教官となる。)**

① 隊員の業務上の地位: **隊員の技術の程度により相違、対応も異なること予想されるが一般 GAZETTED III CLASS OFFICER (OFFICER LEVEL INSTRUCTOR OF PHYSICAL EDUCATION) とする。**

② 技術の範囲: **陸上競技については、走り高び、幅び、三段び、やり投、ぼうがん投、100. 200. 400. 800. 1500m 競走、100. 400m リレー、その他、バレーボール、サッカー、バドミントン、卓球、バスケットなどを指導することになるが、そのほとんど全部について基礎的な知識技能を有している。バレーボール、サッカーについては精通していることが望ましい。**

③ 業務の形態: **上記各種目の理論及び実技の両面をネパール人体育指導官と共に平野、山岳地帯を問わず、各地区毎に巡回指導することになる。**

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: **そのほとんどは文科系大学 又は SLC 修了(高校)後、文部省スポーツカウンセラーの短期研修による種目別(サッカー、バレーボール)の修了証を持っている。中には1年留学した人も居るが技術水準は体には低いと云える。年齢は20~30歳。**

⑤ 現地で利用出来る機材: **少数のものを除いてほとんど持っている。受入側にはあまりない。ほとんどないが云々。**

⑥ 本国人の配属はなしか、**柳田、羽根、伊藤の各バレーボールコチの隊員をほとんどが知っている。**

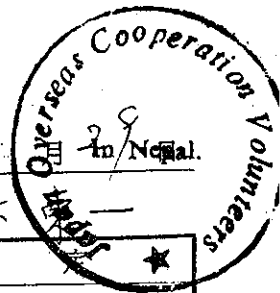
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ① 使用する言語: **ネパール語、専門用語は英語。**

1975年より開始された新教育の年計画の中で、体育は必須科目として採用され、そのため体育学と専門に学んだ小・中・高校の教師は皆無に等しく、国民の体位向上を計るため(あるいは娯楽設備の乏しいネパールでは)体育担当教師の養成は急務である。その一人でも多くの体育担当教師の養成を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ **体育学部卒業者で、バレーボール及びサッカーを得意とする者。実務経験としては、中学又は高校に保健体育の指導した経験があれば申し分ない。但し、教師に対するネパール国の体育技術指導官となる人物であるから指導者としてふさわしい。応用力、実行力に富む人が望ましい。**

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表



記入昭和49年9月

<体育> 78501 体育

調査者氏名 橋本 第一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予
ネパール	(現地公用語) Gymnastic	(男) 1 人	訓練開始 1974 年 10 月
	(日本語) 徒手体操	(女) 人	派遣予定 1975 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 75年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 { Ministry of Home and Panchayat, Dept. of Police
 1. 配属先名称 (現地公用語) { Police Headquarters
 (日本語): 自治省 警察局、警察本部
 2. 隊員勤務先名称: Police Headquarters, Training Section 日本語名称 (警察本部 訓練課)
 所在地: Kathmandu 主要都市からの距離 () より キロ
 3. 事業規模及び内容: ネパール国警察中央所属の訓練所であり、新採用者に対し各種基礎訓練を実施している。

4. 設備概要: 体操 (マツゲーム) サッカー等は屋内体育館及び屋外グラウンドで実施している。

- (2) 隊員の業務内容:
1. 新警察官に対し一般基礎体育 (徒手体操・マツゲーム) を指導する。従って教官 (コ-4) とする。
 2. 従来器械体操の経験者から一部体操を指導に来たが、
 3. 一般基礎体育 (徒手体操・マツゲーム) を各4ヶ月間訓練の中心にする。
 4. 20~25才前後 中・高个程度。今までのレポートに引續き者は少ない。自分達だけの隊員から強化の中心にする。
 5. 徒手体操・マツゲーム用の機材は少ないのみである。(ダンベルの型も、ベンチの型も) 両手に各体で持ち徒手体操を行うもの。
 6. 柔道・空手両隊員 (Joco) のみ。
 7. ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
 日本人の柔道指導が過去5年間行われ、今年より両国JocoPの間の空手指導も行われる。日本人の礼儀正しさ (前及び現警察視察総監等) ネパール警察首脳者はインド独立義勇軍 (4年間のボスネス戦争) に参加した経験を持つ。団体生活訓練を高く評価しており、隊員への期待も大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
 ○ 体育系卒業者で礼儀正しい人間

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 51年 8月 9日

78504 体操競技

調査者氏名 恵原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
テュニジア共和国	(現地公用語) Gymnastique (日本語) 785-体育(器械体操)D(2)	(男) 1人 (女) 1人 (どちらでも可) 人	訓練開始 昭和 51年 10月 派遣予定 昭和 51年 2月 受入期限 年 月に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de la Jeunesse et des Sports

(日本語): 青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: (2) 隊員の業務内容参照。日本語名称 ()

所在地: Tunis (1名), Kassar-Said (1名), Sfax (1名) 主要都市からの距離 (Tunisより 0-300キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

(2) 隊員の業務内容参照

ニ. 設備概要: 各配属先に対し相違があるが、各配属先とも国際基準の体操器具が一応備わっている。

(2) 隊員の業務内容: 隊員の具体的配属先は、隊員の才力、経験によって決定されるものであり、隊員の仏文履修書を受領後、派遣時における予三国出発の指導員、テュニジア人指導員の配属状況により、青年スポーツ省人事課によって決定される。当方には人事権はない。現時点で予定される配属先及び業務内容は下記のとおり。

- ① (1) Tunisie テュニジアのゴ-4 1名。身分は Entraîneur。
テュニジアのメトバ-エ対象に高度な実技・理論を指導する。20-30人。
- (2) Institut National des Sports の教師 1名。身分は Professeur。
3年制の体育教師養成学校 (生徒数 1学年 250人) において、器械体操の理論と実技を教える。また校内の体操コ-3つでより高度な実技の指導を行う。
- (3) Ecole Normale de Maîtres et Maîtresses d'Éducation Physique et Sportive (Sfax) の教師 1名。身分は professeur。2年制の体育教師養成学校 (生徒数 1学年 200人) において、器械体操の理論と実技を教える。副次的に校内の体操コ-3つでより高度な実技の指導を行う。
- ② 隊員は実技の実力がどの程度から、上記(1)(2)(3)の場合には、一般スポーツ理論、生理学指導法等も明らくなければならない。また先方の情報を得るための履修として実技の修習。
- ④ 体操指導員は中国から専属の専使つきで派遣を申し立てている。
- ⑤ 使用する言語はフランス語、アラビア語。(2)(3)は高度な語学能力が必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
スポーツ好きの国民性及び政府の方針としてスポーツ振興に力を入れている国でありながら、高度の技術を有するスポーツ教師、スポーツコ-4に不足している。隊員は高度の技術を有する安否がりの役務提供者ということでの期待をもち。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
①(学): 大学卒 (2)(3)(4)は体育学部卒) 取得資格; 2(1)(3)は教員免許。
実務経験: 後述に器械体操を指導した経験を有すること。
隊員時代に国体に出席する等の、どの程度の実績を有すること

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78504 体操競技

記入昭和 48 年 11 月 29 日

調査者氏名 花田真人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 48 年 4 月
	GIMNASIA DE APARATOS	(女) 1 人	派遣予定 48 年 8 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 48 年 9 月迄に現地到着のこと
器械体操			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): (CULTURA)
 MINISTERIO DE CULTURA, JUVENTUD Y DEPORTE
 (日本語): 青少年文化、スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: UNIVERSIDAD DE COSTARICA 日本語名称 (コスタリカ大学)
 所在地: SAN JOSE 主要都市からの距離 (271) キロ

ハ. 事業規模及び内容: 総合大学であるが、体育学部の生徒は 2000 人中 80% の生徒
 12 年制。4 年制の大学で卒業した者まで入る。この種目を
 修得し得る者は少ない。

ニ. 設備概要: 体育館、柔道場、テニスコートを持つが、器械が不足している。
 設備の管理状況は非常に良く、マットも手製ではあるが、14 枚ある。(その他別添)

(2) 隊員の業務内容:

・上記大学において、教育学部、体育学科の教員として約 80 人の生徒 (男子 70%、女子 30%)
 に器械体操の授業を指導する。授業の他に放課後はクラブ活動も指導する
 こととなるが、システムは日本の大学制度と比べて異なることとなる。
 授業時間は別添カリキュラムの通りであるが、1 時間を 50 分単位とし、週に
 平均 10 時間から 12 時間の授業を受け持つ。(週 6 日制)

- ① 業務上の地位 …… 教師
- ② 技術の範囲 …… 器械体操全般、その他体育教育に用いる知識
- ③ 業務の型態 …… 学校の授業及びクラブ活動
- ④ 対象者 …… 大学生。カウンターパートは、学校の先生で、且つ、学生の中から選出さ
 れる。将来の教師として養成する者が望ましい。技術水準は低い。
- ⑤ 現地の器材 …… 手製マット、10 枚。手製跳箱 3 個 (脆弱であるが使用可能)。安全マット 3 枚
 マットはすべて 1.2m x 2m。
- ⑥ 地元の味方 …… 無し。
- ⑦ 使用言語 …… スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

体育教師の養成及び体育教育の一般普及がその目的であるが、なかには、スポーツ
 選手の養成も含まれる。中央において先々エルサルバドル国が日本の協力隊において
 体育教育を専ら行っているが、普及の年々おぼろしいことあり、今回も要請の
 隊員に対する期待は非常に大きいものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

教員免許を絶対条件とすることはできないが、これを確実に持っていることからは
 必要条件とす。各経験年数は高校、大学を通じてクラブ活動に携わった者。

年齢、大卒

※教育機関への配属という観点で選考していただくこと。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78505 水 泳

記入昭和52年9月30日

調査者氏名 神谷弘司
山田孝秋

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Physical Science	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 体育(水泳)-D(2.1)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限5年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- 配属先名称 (現地公用語): University of the Philippines
(日本語): フィリピン大学 Recreation (SPEAR)
- 隊員勤務先名称: Institute of Sports, Physical Education and Recreation (SPEAR) 日本語名称 (スポーツ、体育、リекреイション学部)
所在地: Diliman, Quezon City 主要都市からの距離 (マニラより15キロ)
- 事業規模及び内容: フィリピン大学は共和国最大の国立総合大学で Diliman U.P. の学生数は約15万人、教授、助教授250名、講師120名、従業員約500名以上を有し、広大なキャンパスには各種施設が整っており、小規模都市のみの様相を呈している。またマニラには専修、経済学部がある。
- 設備概要: 水泳に関する最低限度の指導には十分な設備がある。

- 隊員の業務内容: フィリピン大学水泳部の指導が主任務であり、その他にクラス指導が入ってくる。クラブ指導に力を入れ、現在では水泳部の指導ができる者が少ないため、他の隊員の要請がある。
- 隊員の業務上の地位: フィリピン大学のインストラクター。
- 執行の範囲: 水泳、競泳、水球、飛び板と水泳以外の中心であり、大学卒業後、以上の水泳指導の経験があれば幅広い範囲に及ぶ。
- 業務の形態: 月曜日～土曜日 17:00～19:00 水泳部指導。その他12クラス程度の授業も担当。活発力により状況は変わる。
- 対象者及びカウンセラー: 大学生であるが、小学生、高校生も指導が可能である。カウンセラーは現地にいない。指導者としての経験がない状態である。
- 現地で利用する機材: ホット板30枚、TUVタイプ20個、P.V.C. 5組、ベース時計1個
- 現地に居住する外国人: なし
- 使用する言語: 英語

(2) 受入希望の背景と受入国の期待: 山田孝秋隊員(5/2前水泳)の受入希望。
年々下水り熱がさかんになってきている状況にたいして、その一環として水泳に対する事例が少くない。クラブ指導を通じて学生への指導、カウンセラーの経験、指導等が期待されている。

(3) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
競泳、水球、飛び板と水泳以外の競技、指導ができること。 (学歴)は体育系大学卒又は体育学部卒のこと。取得資格 ①水泳指導員2級 ②国際救急法救急員と2級資格。
実務経験 1年以上。

78505 水 泳
青年海外協力隊派遣受入希望調査表

~~785-年~~ 青

記入昭和 50 年 7 月 1 日

調査者氏名 真原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Natation	(男) 1 人	訓練開始 年 50 年 10 月
	(日本語) 水 泳	(女) 1 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 51 年 2 月 受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de Jeunesse et des Sports

(日本語): 青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: 未定

日本語名称 (未定)

所在地: 未定 (当初は Tunis の可能性大) 主要都市からの距離 (Tunis より 200km 程)

ハ. 事業規模及び内容:

配属先未定故不明

Tunisie 内の水泳人口はそれほど多くなく今後振興の要ありと聞く

ニ. 設備概要:

配属先未定故不明

Tunis 市内には地中海オリピック用プールが完成した (50m) (6000人収容)

(2) 隊員の業務内容:

〜があるが、現在ほとんど未利用とされている。

隊員の配属先は、ゆ實力・経験 得度と下の分野によって決定し、訓練中に履修者と
受領後、派遣時におけるホスト国からの指導員との兼ね合いによって決定される。現時点
における要請はあまりに多すぎると見えて、融通がきかなくなり、派遣時点で合
意が難しく、本邦での募集に差し障りが生ずるので、青年スポーツ省は柔軟な
態度で臨み、当初はハイオプの職員と考えていた。(実経験による)

隊員の業務上の地位・業務の形態は Entraîneurs (コチ) である。また 12 時間の
4-6 のレベルの指導にあたり、配属先によっては体育専門学校や師範学校において
講義、実地指導にあたることとなる。技術の範囲としては、理論、実技、救助法に
明かしく、水泳指導の経験と有るに望ましい。

青年スポーツ省は中国等から水泳コチの派遣を望んでおり、隊員派遣時には
これらホスト国よりの派遣指導員と競争の可能性は大である。アフリカ・ヨーロッパ等
協力隊派遣団体からの水泳コチ派遣は今のところない。

使用する言語はフランス語であるが、指導対象者は都市部の若人が
多いのでフランス語が主となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

スポーツ好きの国民性、スポーツがレジャーの主要印を占め、政府がスポーツ振興に力を入
れている当国では、プロ・アマコチは不足しており、隊員は定年制の役務提供者とい
うことでスポーツ省の期待は大である。現行、落日の憂を抱く国であるといえ、かつての
栄光の日本水泳界に対する当国の期待感はまだ十分にわいていない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専攻: 不問 取得資格: 不問だが、日本の教員免許所持者が望ましい。

実務経験: 後述の水泳指導に経験と有るに望ましい (理論 R の実技)

年齢: 体力感に27歳以下に望ましい (25才以下)

その他: 実務能力のあるおそれない人。自己責任で理解できる性格の人

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78507 バレーボール

記入昭和 50年 7月 1日

調査者氏名 志原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Volley-Ball	(男) 2 人	訓練開始 昭和 50年 10月
	(日本語) バレーボール	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 昭和 51年 2月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Le Ministère de Jeunesse et des Sports*

(日本語): 青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: 未定

日本語名称 (未定)

所在地: 未定 (当初は Tunis にある可能性大) 主要都市からの距離 (Tunis より 2,000 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

配属先未定故不明

Tunisie 内のバレーボール人口はそれほど多くなく、今後振興を要すると聞く

ニ. 設備概要: 配属先未定故不明

Tunis 市内には地中鉄オリーブの時建設された立派な体育館 (500人収容) があ

(2) 隊員の業務内容:

るが、現在このバレーボールはあまり利用されていない。

隊員の具体的配属先は、実力・経験・年齢、派遣時における才三國からの指導員との兼ね合いにより、訓練中に随時変更を覚悟して決定される。現時点における要請はあまり大きくないと聞くと、融通がきかなくなり、派遣時点で食糧の心配がましい。本邦での募集は、差し障りが生ずるので、青年スポーツ省に柔軟な態度で臨み、当初はバレーボールの指導員と考えている。

隊員の業務上の地位、業務の形態は *Entraîneurs* (3-4) である。実力・経験によつては、才三國の 4-6 のレベルの指導員にあり、また場合によっては、体育専門学校や師範学校にまで、講義・実地指導にあたること/ある。技術の範囲としては、理論、実地を問わず、バレーボール指導の経験等を能力の目安とする。

青年スポーツ省は、中国等からのバレーボール 3-4 の派遣を望んでおり、隊員派遣時には、これら才三國からの派遣指導員と競合の可能性が大である。アメリカ平和隊隊等協力隊類似団体からのバレーボール 3-4 の派遣は今のところない。

使用される言語はフランス語、アラビア語ではないが、指導対象者は都市部の若人が多いので、フランス語が主となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

スポーツ好きの国民性であり、スポーツがレジャーの主要部を占め、政府がスポーツ振興に力を入れている等、国では、バレーボール 3-4 が不足しており、隊員の需要の供給者といふこと/スポーツ省の期待は大である。在日バレーボール界を認識している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴: 不問 取得資格: 不問だが日本の教員免許所持者が望ましい。

実務経験: 後述にバレーボールを指導した経験と有ることを (理論的実務)

年齢: 体力的にみて若い方が望ましい。(25以下)

その他: 包容力の長が好まらる人、已を知り、相手を理解できる性格の人。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78601 柔 道

記入昭和 52 年 2 月 10 日

調査者氏名 神谷 弘司
沢井 勝之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) JUDO・KARATE	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 柔道(柔道、空手)-D(2)	(女) 1 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 53年2月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 University of the Philippines			
イ. 配属先名称 (現地公用語): SPEAR (Institute of Sports, Physical Education and Recreation) (日本語): フィリピン大学スポーツ、体育、レクリエーション部			
ロ. 隊員勤務先名称: " 日本語名称 (")			
所在地: U.P. Diliman Quezon City 主要都市からの距離 (マニラより 20キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: フィリピン大学はフィリピン16の大学で、Diliman U.P. の学生数は約1,000人、教授、助教授250名、講師120名、従業員約500名以上を有した大規模なキャンパスには多くの教室、図書館、郵便局、銀行、ショッピングセンター、病院等小さな			
ニ. 設備概要: 有市はみの規模を有しており、体育関係の設備としては体育館(2階に柔道場)、プール、グラウンド2面、ゴルフ場、ボリソク場等がある。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 隊員の業務上の地位 Institute of Sports, Physical Education and Recreation (SPEAR) の Instructor 及び U.P. Judo Club の Coach.			
② 技術の範囲 柔道未経験者の指導がほとんどなので、高度な技術よりも、正しい礼法、受身、基本動作、基本技、理論、形などの指導技術が優先する。			
③ 業務の形態 正課体育のクラスを受け持つのと、放課後におけるクラブの指導。			
④ 対象者及びカウンターパート 対象者はUPの学生で年齢は17才から30才くらい、カウンターパートなし。			
⑤ 現地で利用できる機材 柔道畳約50枚、8mmフィルム、試合用機材(ツル、ハタ)、極の形用居合刀、 現地では柔道着が非常に高価(日本の2~3倍)で、学生が使用しているのは空手着のような薄い布で作られており、自取をするとすぐに破れてしまう(教材、機材の向題点)			
⑥ 使用する言語 英語、UPは日本では東大にあたる16の大学で、学生の英語力は極めて高度。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: UPにおける柔道協力は及川、青木、由川、沢井と8年にわたり続いている。ゆえにP.E. における柔道の位置は確固としており、受入国の期待は大きい。現在、沢井隊長は柔道、空手の授業を受け持つっており、できれば柔道、空手が両方できる隊員を望んでいるが空手の場合はキャンセルすることが出来る。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 学歴 大卒程度、体育教員免許、(柔道4段以上) 空手3段以上 実務経験 2年程度			

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

51. 7. 16

記入昭和 年 月 日

調査者氏名 山口孝一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Judo (Coach)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 式(柔)道	(女) 人	派遣予定 52 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Police Headquarters, Home Ministry, HMG/Nepal

(日本語): 内務省警察本部

ロ. 隊員勤務先名称: Police Training Centre

日本語名称 (警察訓練所)

所在地: Kathmandu

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

警察官の新規採用者, 現職者に対する訓練

ニ. 設備概要: 屋内体育館に柔道訓練に必要な畳が設置されている

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位 教官 (1回の訓練期間 4ヶ月, 40名程度の警官に対し柔道指導とする)
- ② 技術の範囲 一般的な技術指導(柔道の)に加え, 柔道の背景を成している精神礼儀, 作法についても指導 物他, 警官相手であるので逮捕術, 護身術の指導も望まれる。
- ③ 業務の形態 教官としての業務に併せて協力隊として4代目の隊員になるのでいかにしてネパール側が自立して柔道指導が出来るようになるか提言できることが必要。(引き渡して出来る状態にしておくようにする)
- ④ 対象者
カンジ-パートについて 対象者は in-service training であるので柔道を習ったことのある人が対象となる(20-25歳)カンジ-パートについては 2段有資格者がいる。
- ⑤ 利用可能な機材 JOCVを通じて, 又警察側が積極的に畳, 柔道着を揃えてくれる。
- ⑥ 母国語 無
- ⑦ 使用する言語 ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ネパール警察訓練所に対する協力は第1次の受入専門系から協力隊員が初任, 柴田, 橋本, 現職の旧中隊員と統... て, ネパール側には2段の有資格者がいるが, 警視総監はまたネパール独自で訓練が出来る状態であるかと判断しており, 交替申請がなされた。柔道の訓練は JOCVを通じて警官としての資質の向上を計ったため。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 4段有資格者 ; 単に柔道の伝授のみに終わりでなく, ネパールの柔道の定着に提言できる見識 ~~を~~ 実行的人。できれば警察という職場のため警察出身の人がよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78601 柔 道

記入昭和 50年 7月 1日

調査者氏名 東原 裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ジュニア	(現地公用語) JUDO	(男) 1人	訓練開始月日 50年 10月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定月日 51年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Le Ministère de la Jeunesse et des Sports*

(日本語): 青年スポーツ省

2. 隊員勤務先名称: 未定 日本語名称 (未定)

所在地: 未定 (Tunis または Sfax の可能性大) 主要都市からの距離 (Tunis より 500キロ)

3. 事業規模及び内容: 配属先未定故不明

全 Tunisia 内の柔道人口は 2000人以上あり、内有段者は約 80人である。

柔道クラブ数は Tunis で 6、全国で約 20、指導者は 2-3段の柔道家。

4. 設備概要: 配属先未定故不明

(Tunis 市内には、約 100 畳の青年スポーツ省の道場がある。)

(2) 隊員の業務内容:

隊員の配属先は、その実力、経験に基づいて決定され、訓練中に履修書を受領後青年スポーツ省に提出して決定される。当方からの要請をあまりにきつりと固めていくと融通がきかなくなり、本邦での募集に差し障りが生じ、また派遣時に食い違いが生ずる恐れがあるため、青年スポーツ省は柔軟な態度で臨み、当初はハイオプの隊員と考えている。隊員の業務上の地位、業務の形態は、Entraînements (コーチ) であり、主として各地に散らっている ナショナルチームのメンバーの指導、柔道連盟下の各クラブでの実技指導、場合によっては体育専門学校や師範学校において講義、実地指導にもあたります。当国柔道界の第一人者 M. ALI は、明治大学に留学の経験があり、講道館 4段の免状を有している。身長 185cm の大男であり、某クラブにて後進を指導している。柔道連盟内においては 53人、青年スポーツ省に就いては大きな発言力を有する男である。Tunis の ナショナル道場には約百枚の畳があるが、他道の道場は畳はなく、代用品を使っている。道衣は品質の悪いものを Tunis 市内の国立デパートで販売している。専門家としては、青年スポーツ省との私的契約という形で講道館から 5~6段クラスが常駐 1名派遣されている。現在の 大田五郎 (在 Tunis 27才) は 3代目。使用する言葉は フランス語、アラビア語、日本語であるが、経験者の若人がフランス語を解するので、訓練中はフランス語を勉強してもらおう。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国では政府の方針としてスポーツ振興に力を入れている。

柔道人口が年々増加している現状、柔道コーチの不足が目立ち、当国にとって、隊員とは安あがりの後援提供者といふことでスポーツ省の期待は大である。隊員は青年スポーツ省傘下の連盟より指導員になるが、上記 Tunisia 柔道界第一人者を買わないと実力がなければならぬ。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴: 不問 取得資格: 講道館免状 4段以上
 実務経験: 後進に柔道を指導した経験があること (理論及び実技)
 年齢: 体力的にみて若い才が望ましい (25才以下)
 その他: 包容力のあるおおらかな人。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和48年6月12日

調査者氏名 伊藤 勲

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) JUDO	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定 48 年 12 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF INTERIOR

(日本語): 内務省

ロ. 隊員勤務先名称: Central Police School 日本語名称 (中央警察学校)

所在地: Damascus ダマスカス市 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ダマスカス中央警察学校は専ら警察官養成所であり、また再研修所である。学校はダマスカス市郊外にあり敷地も広く校内での規律も厳しく整然としている。

ニ. 設備概要: 柔道に関しては学校側が日本より購入した畳が用意されており、道場として独立してはいないが練習は十分出来る。

(2) 隊員の業務内容: シリアの柔道は交習隊員であり、今回の派遣が実現

するに3名にわたることになる。現在隊員は朝1時間

夕方1時間を初心者クラス(約30~50名)、特別クラス

(5~6名)にわけて練習を行っている。

練習生は警察官であるが、本年末より永年隊員達の急

願であった一般への門戸開放が計画されており、9~

10月より12才~16才の青少年を対象に練習を行う計

画が内務省、警察学校長の発案の下に進められて

いる。

シリアは世界最古の都市ダマスカスを誇りつつも、アラブ社会主義国家として新しい国づくりに努力を続けている。

柔道隊員も単に柔道の指導ということだけではなく、広くシリアを知り、理解をしようという熱意が必要である。(シリア人)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

警察官養成のための一教程

言語: アラビア語, 英語

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

三段以上の者

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

78001 柔 道

記入 昭和 53年 / 月 19日

調査者氏名 石川 高男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	柔 道	(どちらでも可) 人	受入期限 53年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): OFFICE OF THE PRESIDENT

(日本語): 大統領府

ロ. 隊員勤務先名称: KENYA POLICE COLLEGE (日本語名称 (ケニア警察大学校))

所在地: KIGANJO 主要都市からの距離 (710km) (50km)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要: 柔道場は 60畳のタタミを有し 2つの 体育館
教室 432ト

(2) 隊員の業務内容:

1) 日本の警察学校における教官 程渡

2) 柔道四段程渡の實力と指導力

3) 柔道12場におけるの柔道指導

4) 生徒は全くの初心者 中率 20~25%

カウチーニート 2名は柔道歴 2年だが一級程渡の實力

5) 体育館・柔道場・教室・タタミ等 大学設備

6) ケニア人だけ (例外として柔道指導に教員が入っている)

7) 英語とスワヒリ語 があるが英語だけが充分

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ケニア警察官に好む柔道及 蹴鞠 技術
指導

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

柔道四段を有する事.

蹴鞠に指導出来る事.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52年 6月 7日

70601-7

調査者氏名 赤星 則昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
ザンビア	(現地公用語)	(男) 2人	訓練開始	52年 10月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定	53年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限	年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Home Affairs, Zambia Police Headquarter
 (日本語): 内務省, 警察庁

ロ. 隊員勤務先名称: Lilayi Training School, Kafima
 所在地: ソシカサ Mobile Unit
 日本語名称 (カササ機動隊本部)
 主要都市からの距離 (カササより16キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ソシカサ、シラ、ヒンストーン、モノ、カマ、ナバ、カフ、マ、マの全サビワ9ヶ所に道場を開設し、それにサビワ柔道指導教官を各地に派遣しサビワ警察内での柔道を強化中である。

ニ. 設備概要: 柔道着 各地に50着配布、計600着、柔道着 各地に100着を配布、計1,000着 (古くて役に使用不能のものがかたなりある。)

(2) 隊員の業務内容:

ソシカサ警察学校で新警官に教えるのは、それにサビワ柔道指導教官が従事しているが、カササ機動隊本部での今後のサビワ柔道指導教官高年には隊員が在籍している必要がある。(速達術を含ま) 又、地方7ヶ所の警察署内で、道場30名~40名にサビワ人指導教官が柔道専門委員と部署されているので、その人等との密接な連絡、業務指導中に行ない、隊員は、警察庁本部柔道部からの派遣委員として各地での課題の調整に当る。(国家行事のデモンストレーション、各地でのデモンストレーション)

① 隊員の業務上の地位: 日本人柔道指導教官として officer 扱っている。

② 技術の範囲: 柔道四段以上で速達術の指導が出来る事

③ 業務の形態: 隊員の最終目標は、サビワにどのように柔道の普及活動を行なうかであり、現在は警察を中心に、2~3ヶ所のクラブを受け持っている。従って4人の隊員がチームワークよく話し合い、1人は警察本部、1人はカササ、1人は巡回指導、1人は、モノという様に協力活動を押し進めなければならない。

④ 対象者及カウンターパートの技術水準: 学卒4年令; サビワ柔道指導教官約14名、実力は本部の2段~3段あるが、新警官年々200名、柔道 trainee 約200名は柔道が初めての人が多い。中学卒業程度~高卒程度、20才~30才前後と年齢層は広い。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ザンビア警察本部には、かなり柔道の必要性を重要視しているが、それは、警察内務の大臣であり、警察長官でもある、Mr. Chela が指導を取っているからにほかならない。早い時期に、警察内部で、柔道は、警官にとって、欠かたない出来事なり科目であるとの認識を深める為、協力活動をすすめる事が必要。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

要は特に内務省、(柔道四段)以上である事、速達術の指導が出来る事。JRLVの協力活動が8年継続している為、サビワ人の中でかなりの実力が備わり、本部の2段~3段に匹敵する人が増えた事を期待可